



NEW TOKYO REAL

Farmer's

VOL.008

東京都内の新規就農者のリアル



東京 NEO-FARMERS!

「今」できることを。これまでも、これからも。

1 EPISODE サラリーマンから農業の道へ

2010年前後にメディアで若い農業者がよく取り上げられていて、農業で働く同世代の人たちは当時サラリーマンだった自分より生き生きとしているように見えたんです。独立新規就農の道に進んだのは、雇用就農よりも自分の考えで物事を決められると思ったからです。

2 EPISODE 研修と東京NEO-FARMERS!

退職した後、農業学校で学び、その頃から都内の新規就農グループの集まりに参加していました。卒業後はトマトを生産する日の出町の農業法人で研修をしながら、就農したメンバーとの交流を深めるうちに独立の思いが強くなりました。

3 EPISODE 就農3年目、念願の施設が完成

2015年に就農して以来、露地栽培のみで経営が大変だったのですが、東京都と日の出町の支援により補助事業を活用し、4年目の春から施設栽培のトマトの出荷を開始しました。

施設栽培は天候を気にせず安心して生産できます。また加温設備を導入すれば厳寒期も出荷できるのがメリットです。

4 EPISODE とにかく、毎日、出荷し続ける

目標はトマトの継続出荷。都内でもトマトの有名な産地である日の出町の直売所には1年中多くの地元産のトマトが並んでいます。とにかく自分のトマトを認知してもらうことが重要です。露地栽培も行いながら、収穫時は毎日トマトを出荷することに努めています。

5 EPISODE “行動”が結んだ信頼のカタチ

施設トマトの実現へ向けて、**就農計画に基づき露地栽培から段階的に行動してきました。**そのことを受け止めてもらったのか、農地や補助事業のことで声を掛けていただけようになり今があります。「目標に向かってできることから始めること」。これが新規就農を目指す方への、僕からのメッセージです。



就農後は、東京都や日の出町の方々に日々支援いただいています

Question

なぜ**トマト**を選んだの？
Why **TOMATO**?



好きな食べ物だからです。食味が良く見栄えも良い。そのまま食べられて調理方法もバラエティに富んでいます。また1袋あたりの販売価格も高く設定できます。手間暇かかる農産物ですが、高収益を目指す新規就農者には適しています。